

平成17年度第1回理事会議事録

日 時 平成17年4月12日(火) 15:00～

場 所 日本体育協会 理事・監事室

出席者 <理事>

森会長、長沼副会長、宮田副会長、岡崎常務理事、石川常務理事、
泉常務理事、石樽、大谷、尾崎、木下、監物、小嶋、斉藤、篠宮、
瀬尾、武田、豊島、中山、古川、松田、森(正)の各理事

<委任>

奥田、竹田、田島、渡邊の各理事(議長に委任)

<監事>

市川

理事総数26名、うち出席21名、委任4名、計25名で寄附行為第32条に基づき理事会成立。

なお、森会長が急遽所用で開始時刻に間に合わないことから、先に議案第3号、議案のその他及び報告事項の会務関係(3)、(4)を寄附行為第24条第2項により長沼副会長が議長となり議事をとり進め、議案第1号、第2号及び報告事項会務関係(1)、(2)については、森会長到着後、議長となり取り進めた。

議 案

第1号 名誉会長、最高顧問、顧問等の委嘱について (森会長)

名誉会長の委嘱については、寄附行為第30条第3項により、9年半の長きに亘り会長を務められた安西孝之前会長を推薦するとともに、顧問については、寄附行為第30条第4項により、青木半治前名誉会長を最高顧問として、また、日比野弘前常務理事を顧問に推薦したいと諮り、満場一致でこれを承認。

また、参与については、寄附行為第30条第6項により、理事を退任された、千葉敬伍氏、上原尚真氏、碓井進氏、大野徹氏、木内貴史氏、神津政弘氏、田名部匡省氏、野中ともよ氏、林敏弘氏、平岡英介氏、松岡伊佐男氏、吉川勉氏、渡辺泰造氏、監事を退任された小林喬氏、橋本徹氏の15名を参与として委嘱したいと諮り、これを承認。

第2号 学識経験評議員の委嘱について (森会長)

学識経験評議員については、寄附行為第28条第3項に基づき、天沼照夫氏、雨宮忠氏、石川六郎氏、梅村清弘氏、帖佐寛章氏、日枝久氏、日比野弘氏、福山信義氏、松本好男氏の9名を委嘱したいと諮り、これを承認。

第3号 第8回秩父宮記念スポーツ医・科学賞受賞者の決定について

(長沼委員長)

受賞候補者の選考にあたっては、秩父宮記念スポーツ医・科学賞選考委員会のもとにスポーツ医・科学の各分野から8名の学識経験委員によって構成した作業部会を設置し、その作業部会員ならびにスポーツ医・科学専門委員会委員より、功労賞及び奨励賞の候補者を推薦願った。その後、作業部会において候補者の絞り込み作業を行い、今回は功労賞1名、奨励賞2グループの推薦が選考委員会になされた。

この作業部会からの推薦に基づき、去る3月14日に秩父宮記念スポーツ医・科学賞選考委員会を開催し、功労賞については、長年にわたり本会「スポーツ医・科学専門委員会委員長」、「指導者育成専門委員会スポーツドクター部会長」及び「国民体育大会委員会医事部会員」を務め、本会公認スポーツドクター制度の設立、国体選手の医・科学サポート体制の確立、国体帯同ドクターの設置などに尽力され、我が国スポーツ医・科学の発展に多大な貢献をされた中嶋寛之氏を選考した。

また、奨励賞については、「高地トレーニング医・科学サポート研究班」及び「北島選手を中心とした競泳選手への医・科学サポートチーム」の2グループが受賞候補となり、慎重に協議を行ったが、いずれもスポーツ医・科学の研究成果を国際大会における競技力に結びつけた非常に素晴らしい内容で甲乙つけ難く、今回は特例として、2グループを選考した。

以上のとおり資料に基づき説明し、功労賞として中嶋寛之氏を、奨励賞として「高地トレーニング医・科学サポート研究班」及び「北島選手を中心とした競泳選手への医・科学サポートチーム」を受賞者に決定したいと諮り、これを承認。

その他 本会職員労働組合との交渉権、妥結権について (岡崎常務理事)

本会職員労働組合から出される春闘及び各要求項目について、その交渉権と妥結権を会長及び労務担当である岡崎常務理事(事務局長)に一任願い、今後の交渉を取り進めたいと諮り、これを承認。

報告事項

1. 会務関係

(1) 常務理事の分掌について (森会長)

常務理事の分掌について、次の業務区分で取り進めることとした。

- | | |
|--------|---|
| 岡崎常務理事 | ・ 総務に関する事項
・ 財務に関する事項
(含、国民スポーツ推進キャンペーンに関する事項)
・ 広報・スポーツ情報に関する事項
・ 職員労働組合に関する事項 |
| 石川常務理事 | ・ 生涯スポーツに関する事項
・ 指導者養成に関する事項
・ スポーツ少年団に関する事項 |
| 泉常務理事 | ・ 国民体育大会に関する事項
・ 国際交流に関する事項
・ スポーツ医・科学に関する事項 |

(2) 各種委員会委員長について (森会長)

各種委員会委員長の人選については、去る3月22日開催の新理事会にて会長一任事項とされており、諮問委員会の総合企画委員会委員長には岡崎常務理事、同委員会の各部長として、財務部会は岡崎常務理事、企画部会は豊島理事、加盟・栄典部会は大谷理事に、国民体育大会委員長及び同競技運営部会長は泉常務理事、同医事部会は福林徹氏。

また、専門委員会の委員長については、生涯スポーツ推進専門委員会は石川常務理事、スポーツ医・科学専門委員会は中嶋寛之氏、指導者育成専門委員会は監物理事、国際交流専門委員会は瀬尾理事、広報・スポーツ情報専門委員会は森(正)理事。

また、特別委員会委員長については、秩父宮記念スポーツ医・科学賞選考委員会は長沼副会長、倫理委員会は石川常務理事、日本スポーツマスターズ委員会は岡崎常務理事に依頼した旨を説明、これを了承。

(3) 平成17年度協賛企業について (岡崎常務理事)

本会の使命として推進する「国民スポーツ振興事業」の充実を図るため、平成4年度より、民間企業による協賛制度として「国民スポーツ推進キャンペーン事業」を実施してきた。また、平成13年度からは民間企業協賛を主な財源とする「日本スポーツマスターズ」を実施し、今年度で5回目を迎えるが、これら事業への協賛企業の現状について次のとおり報告した。

国民スポーツ推進キャンペーン協賛企業については、1年間の協賛金が2千万円の「オフィシャルパートナーA」では、(株)アシックス、大塚製薬(株)、ミズノ(株)、三井住友海上火災(株)の4社について契約の延長を前提に交渉中である。

また、1年間の協賛金が2百万円の「サポーターカンパニーB」ではピーシーエー(株)及び新たにトラベラー(株)と契約済みであり、(株)日立オープン プラットフォーム ソリューションズについては契約延長を交渉中である。

日本スポーツマスターズ2005富山大会の協賛企業については、「オフィシャルスポンサー」として(株)アシックス、大塚製薬(株)、東急観光(株)、ミズノ(株)の4社に契約継続を交渉中であり、新たな協賛企業として(株)ディー エイチ シーと契約することとなった。大会サプライヤーでは、(株)セレスポと契約を交渉中、トナミ運輸(株)、(株)インテックについては契約締結作業を取り進め中である。大会サポーターでは、(株)エンジョイ・スポーツと契約締結作業中である。

また、本会企業協賛制度の概要を説明するとともに、本会事業に協賛いただける企業の紹介を各理事に依頼した。

(4) 2004年度ミズノスポーツメントール賞について (岡崎常務理事)

ミズノスポーツメントール賞は、平成2年に水野スポーツ振興会の尽力により制定され、本会とJOCが共催し、本年度で15回目となる。

今回、資料のとおりの方々を優秀指導者として選考され、表彰式は4月18日に行われる予定であることを説明。

その他

(1) 事務局機構について (岡崎常務理事)

平成17年度は事務局全体を7部1室の体制にて取り組んでいくこととし、特に青少年スポーツ部及びスポーツ指導者育成部については、部内の効率化及び連携強化のため、従来の2課体制から1課体制で臨むこととした。これに併せ、国際交流室を国際交流部とした旨を資料に基づき説明。

(2) 会議日程について (岡崎常務理事)

次回理事会は6月8日(水)14時から、また平成17年度第1回評議員会を6月22日(水)14時から開催することを確認。

以上の諸報告をいずれも了承し、15時55分閉会。